

私は現在、ニュージーランドに留学をしています。毎日、ニュージーランドの生活を満喫しています。ホストファミリーは、湧別町に留学をしていた、レキシーさんの家族です。私のことを、あたたかく迎えてくれました。ホストファザーが毎日夜ご飯を作ってくれます。「ボロネーゼ」や「ポテトグラタン」「シーフードスープ」などを作ってくれました。特に、「フィッシュ&チップス」がとても美味しいです！「フィッシュ&チップス」は、こちらで有名な食べ物の一つで魚のフライとフライドポテトのことです。フライドポテトを、こちらでは「チップス」と呼びます。ホストファザーの作る食事がとても美味しいです。

私は、現地のダーフィールド・ハイスクールに通っています。小学校6年生から高校3年生までが通う学校です。学校の授業は、一人ひとり選択して受けるので、同じ学年でも、毎時間異なる教科を受けています。私は、理科・社会・日本語・英語・体育・保健・数学・技術を受けています。日本語の授業では、「早川先生」とニュージーランドの生徒たちと、日本語を学んでいます。私は、日本語の発音や文字の書き方を教えてあげたり、日本語の本を英語に翻訳したりしています。英語の授業は、ダーフィールド・ハイスクールに通う留学生と一緒に学んでいます。留学生は、日本からだけではなく、中国、タイ、ドイツ、韓国からの留学生もたくさんいます。毎回とても賑やかで楽しいです！学校には、給食がありません。代わりに、校内には「購買」があります。そこでは、ハンバーガーやライスボール、また、チョコレートケーキやマフィンなどが販売されています。私はそこでミートパイを買って食べました。あつあつで、とても美味しかったです！！また、こちらの学校には、帰りの会と掃除の時間もありません！授業が終わると、みんなそのまま下校します。日本の学校とは大きく違うなと思いました。学校では、お友達もたくさんできました。先生の説明を、隣で補足してくれたり、ノートを見せてくれたりして、毎日たくさん助けてもらっています。

休日は、ニュージーランドの南島西海岸にある「パンケーキロック」と呼ばれる場所に、ホストファミリーと行きました。石灰岩が何層にも積み重なって、地震などにより隆起して地上に現れたそうです。実際に間近で見ると、本当に巨大なパンケーキでした。薄い岩石が細かく数え切れないほど積み重なっていて、すごい迫力がありました！自然にできたとは思えない、不思議な岩石でした！

8月23日に留学生全員で「ハンマー・スプリングス」というプールと温泉がある場所へ行きました。そこには、大きなウォータースライダーがあります。とても楽しくて、何度も挑戦しました！また、そこには「硫黄泉」があります。硫黄の香りを感じながらゆっくり入浴もできて、気持ち良かったです！とても充実した時間でした！

こちらに来て、私が学んだニュージーランドの文化は、例えば日本で人気のスポーツといえば、野球やサッカーなどですが、こちらの人気のスポーツは、圧倒的にクリケットやラグビーです。また、農業も「羊の放牧」をいたるところで見かけます。ニュージーランドの先住民は「マオリ族」です。学校の授業の中に、マオリ語を学ぶクラスがあったり、テレビのチャンネルの中にも、マオリ語のニュース番組があつたりします。日本の電気コ

ンセントは、差し込めば即使用できますが、ニュージーランドの電気コンセントは差し込み口の上にスイッチがあります。日本とニュージーランドでは、当たり前ですが、文化が違います。まだまだ、私の気が付いていないニュージーランドの文化があると思います。今後も、ニュージーランドの文化・生活をたくさん吸収していきたいと思います！そして、湧別町に住むみなさんにも、こちらの様子を、お伝えしていきたいです。

私は、7月19日に湧別を旅立って、10月14日まで、ニュージーランドへ留学していました。私は、湧別へ留学に来た、レキシーさんの家に、約3ヶ月滞在しました。3ヶ月間は長いようで、とても短い期間でした。

私は、ニュージーランドのダーフィールドハイスクールに通っていました。ダーフィールドハイスクールは、ニュージーランドの南島の東側にあります。毎日スクールバスに乗って、通学していました。ダーフィールドハイスクールには、小学校6年生から、高校3年生までが通っています。湧別中学校とダーフィールドの違いは、たくさんありました。その中でも、私が特に驚いたことは3つあります。

一つ目は「ランチ」についてです。湧別中学校には給食がありますが、ダーフィールドハイスクールにはありません。その代わりに、「ランチボックス」を持って行きます。中学校でも、お弁当を持っていくことはありますが、お菓子やジュースは禁止されています…。しかし、ダーフィールドハイスクールでは「何でも」持って行けます。ジュースやチョコレート、ケーキ、ポテトチップスなど…。また、学校には、「購買」があります。そこでは、ハンバーガーやホットドッグ、そして、チョコレートミルクやアイスクリームなども販売されていました。ランチタイムになると、大勢の生徒が集まっていました！

二つ目は「携帯電話の持ち込み」についてです。湧別中学校では、絶対に禁止されていますが、ダーフィールドハイスクールでは、持ち込みが許可されています。授業の中でも、先生が許可した場合や調べ学習のときは、携帯電話を使うことができます。そして、驚いたことに板書を写すときや、問題を解くときになると、生徒のほとんどが耳にイヤホンをさし込み、音楽を聴いていました。先生も生徒を待っている間、携帯電話を使っていました！

三つ目は「ダーフィールドハイスクールの時間割」についてです。ダーフィールドハイスクールでは、一週間の時間割が一年間、変わることはありません。また、一人ひとり受けたい授業を選択します。（必須教科はあります。）なので、同じクラスの子でも、朝の会以外会わないという日がありました。私は、理科、社会、数学、英語、技術、体育、保健体育、日本語を受けていました。体育の授業では、ハンドボールやバスケットボール、またクリケットも少しやりました。男子も女子も、みんな強くて私は、ボールを追うことだけで、精一杯でした。なかなか難しかったのですが、とても楽しかったです。

ダーフィールドハイスクールには、留学生がたくさんいます。中国、韓国、ドイツ、タイ、日本などから集まっています。全員で、40人ほどいます。ダーフィールドハイスクールには、毎週木曜日に「インターナショナルクラブ」があります。留学生で料理を作ったり、スポーツをやったりします。なかでも思い出に残っていることが、みんなで、ドイツの朝ごはんを作ったことです。「ジャーマンポテト」と「パン」を作りました。ドイツからの留学生が先生となって、教えてくれました。ジャーマンポテトは、最後に溶き玉子をかけました。ポテトと玉子のコンビがすごく美味しかったです。パンの方は、外側がクッキーのようにサクサクしていてスコーンのようでした。どちらも、初めて食べましたが、

とても美味しかったです。休日には、留学生と一緒にボーリングへ行きました。私はボーリングを今までにやったことがありませんでした。コツをつかむまでは、ガターが続いていましたが、徐々にピンを倒すことができるようになりました。時間を忘れて、みんなで盛り上りました！

学校最終日は、とても悲しかったです。ダーフィールドハイスクールの友達、先生方に別れを告げたくありませんでした。学校初日は、これからの中学校生活に対して、不安がありました。しかし実際に通うと、周りには私を助けてくれる先生方がいたり、一緒にランチを食べて遊んだりしてくれる友達がいました。楽しくて、充実した時間を学校で過ごすことができて、本当に嬉しかったです！

ホストファミリーと一緒に過ごした時間も、忘れられない大切な思い出ばかりです。一つはホストファミリーと一緒に「オークランド」へ行ったことです。ニュージーランドの南島から北島へと飛行機に乗って行きました。そこでは、ホストマザーのお母さんにお会いしました。そして、一緒にオークランドにある「ワン・ツリー・ヒル」という場所へ行きました。今まで、一本の木が立っていたことから、「ワン・ツリー・ヒル（一本木の丘）」と呼ばれているそうです。そこには、大きなお墓がありました。そのお墓までの長い坂道を登った後に見える景色は、とても迫力がありました。頂上からは、オークランドを一望できました。道中にいた羊たちも、可愛かったです。また、オークランドからフェリーに乗って、「ワイヘキ島」という小島へ行きました。夕方に、海辺へ行くと、さざ波の音と真っ赤な夕日が、本当にきれいでした。オークランドの都会の景色や、ワイヘキ島の自然豊かな景色を見たり、海産物やラムなどの美味しい食べ物を食べたりしました。4泊5日のオークランド、ワイヘキ島への旅行を充分に満喫しました！

ニュージーランド発祥の「クッキー・タイム」へ行きました。店内に入った瞬間、クッキーとバターの香りと、チョコレートの甘い香りが広がってきました。とても残念なことに、お店で作っている焼きたてクッキーが売り切れていて、食べることができませんでした…。だけど、ニュージーランドのクッキータイムのお店へいくことができて、満足しています。

ホストファミリーは優しくて、私のことを常に気にかけてくれました。ホストマザーの作る料理が毎回、本当に美味しかったです。なかでも、私が特に好きなものが「オムレツ」です。ふわふわしていて、やわらかくて、ナイフを入れると、中から半熟の玉子とともに、マッシュルーム、玉ねぎ、ベーコン、トマトなどがあふれてきます。今まで食べたオムレツの中で1番美味しかったです。最後のディナーも、私からお願いして、オムレツを作ってもらいました！

ホストマザーは、毎日私に、学校の様子や体調を聞いてくれて、たくさん話しかけてくれました。また、私に色々なことを経験させてくれました。オークランドやウェストコート、美味しいパン屋さんへ連れて行ってくれたり、「ココナッツアイス」というキャラメルや、ニュージーランドで栽培されている「フェジョア」という果物を食べさせてくれたりしました。どれも、私にとって貴重な経験です。

湧別へ留学に来た、私のホストシスターのレキシーさん。私の学校でのバディは、レキシーさんでした。それぞれの教室やホームルームの場所へと連れて行ってくれたり、ラン

チと一緒に食べたり、色々な場面で助けられました。また、留学中の私の英語の先生でもありました。授業や会話の中で使われるフレーズなどを教えてくれたり、学校の宿題を手伝ってくれたりしました。私にとって、お姉さんのような、頼れる存在でした。

今回のニュージーランドへの3ヶ月間の留学は、私にとって、価値のある、大きな経験となりました。この留学を通して、私自身、人として成長することができたと思います。また、ニュージーランドでサービス家族、友達、先生方などたくさんの人々に出会うことができて、本当に幸せです。

英語や海外に少しでも興味がある人は、この留学制度に応募することを、私からお勧めしたいです。英語力が身につくことはもちろんですが、新しい世界を見て、感じることができます。私自身、たくさんのこと学び、たくさんの思い出ができました。この経験は、私にとって、一生の宝物です。

最後になりますが、湧別町の皆様、湧別中学校の校長先生を始め先生方、私を笑顔で見送ってくれた湧別中学校のクラスメイトと山田先生、そして、私を3ヶ月間受け入れてくれたホストファミリー、ダーフィールドハイスクールの友達、全ての人々に、心からの感謝を伝えたいです。